

宮崎県の肝炎医療費助成制度

・肝炎初回精密検査費用助成制度

肝炎検診、妊婦健診・術前の肝炎ウイルス検査等で陽性と判定されてから1年以内の方が精密検査を受ける際に費用助成が受けられます。

・肝炎定期検査費用助成制度（年2回まで）

指定された医療機関において定期検査を受けた場合、費用助成が受けられます。

・肝炎治療費助成制度

ウイルス性慢性肝炎または肝硬変の患者のうち、県が承認した方に受給者証が発行され、一定の自己負担額（月額1～2万円）で治療が受けられます。

- ・ 申請窓口は、お住まいの地域の保健所です。
- ※ 宮崎市にお住まいの方は、中央保健所が窓口です。
- ・ 各助成制度についての詳細は、宮崎県HPに掲載していますので、ご覧ください。

宮崎県 肝炎

検索

【肝炎に関するお問い合わせ】

宮崎大学医学部附属病院肝疾患センター 電話相談窓口

TEL 0985-85-9763

（月～金：9時～17時（祝日を除く））

【医療費助成に関するお問い合わせ】

宮崎県福祉保健部健康増進課 がん・疾病対策担当

TEL 0985-26-7079

お母さんと赤ちゃんの
健康のために
～肝炎のおはなし～

妊婦健診の肝炎ウイルス検査で
陽性となった方へ

妊婦健診ではお母さんと赤ちゃんの健康管理のために
肝炎ウイルス検査を実施しています。

B型肝炎ウイルスとC型肝炎ウイルスのふたつです。

肝炎ウイルスのこと、これからの検査について
このリーフレットでご案内します。



肝炎ウイルス陽性ってどういうこと？

HBs抗原が陽性 ⇒ B型肝炎ウイルスに感染しています。

HCV抗体が陽性 ⇒ C型肝炎ウイルスに感染している
可能性があります。

肝炎ウイルスに感染していたらどうなるの？

B型肝炎ウイルスやC型肝炎ウイルスは、主に血液や体液から感染します。
感染したまま放っておくと、慢性肝炎に移行する場合があります。

慢性肝炎は肝細胞が壊れていき、働きが悪くなる病気です。

症状は出にくいですが、さらに進行すると**肝硬変**や**肝がん**になることもあります。

赤ちゃんへの感染防止のために

お母さんが肝炎ウイルスに感染していると、妊娠中や出産時に赤ちゃんに感染することがあります。

感染を防ぐには、時期に応じて、検査やワクチン投与を行う方法がありますので、かかりつけの医療機関に相談してください。

お母さんの健康のために

B型肝炎ウイルスやC型肝炎ウイルスは飲み薬による治療でウイルスを排除したり、病気の進行を抑えることができます。

まずは、詳しい検査や治療の相談をするため、早めに**初回精密検査**を受けましょう。

初回精密検査を受けられる医療機関は、妊婦健診を受けた医療機関などから紹介してもらいましょう。

肝炎ウイルスは肝臓の病気を起こすウイルスです。
結果が陽性の場合、ウイルス感染があるか**精密検査**で確認する必要があります。

必ず肝臓専門医を受診してください。

肝炎検査には**検査費用の助成**があります。
(詳しくは、リーフレットの裏面をご覧ください。)

肝炎についてもっと調べたいとき、

肝炎の専門医療機関を調べたいときは

こちらを **検索** してください

・肝炎情報センター



・宮崎県肝疾患ネットワーク



・肝ナビ（肝炎医療ナビゲーションシステム）

